

2026年度 家庭科シラバス

教科	家庭科	科目	(学) こども文化	単位数	3	学年	3
学科 ・ コース	普通科 幼児教育コース						
教科書	保育基礎（教育図書）	副教材	なし				
科目の概要	「発達と保育」の授業の延長として、子どもの発達にそった関わり方や、特徴、保育者としての意義、子どもの福祉などの知識を身につける。 座学で学ぶ「児童文化財」ともなる子どもの玩具の製作と、子どもに見せることを目的とした作品づくり・発表をすることで、想像力や実践力をつける。 作品は、エプロンシアターを一年かけて制作・発表する。			評価の観点	【知識・技能】 子どもの発達の特徴、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。 【思考・判断・表現】 子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深める。作品作りを通して、工夫し創造する能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組む、子どもの発達や子育て支援に寄与しているようとする実践的な態度を身に付けている。		
				評価方法	学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。 定期考査 実習（作品製作）70～80% 平常点 20～30% ※ 授業内容により異なる		
				学習方法	・座学ではプリントを使用して授業を展開するので、前もって教科書を読み予習し、さらに、学習したことをその日のうちに復習する。 ・実習においては、目的やポイントをよく把握して取り組み、身についたことを家庭でも実践する。		
授業内容	<1学期中間> ・子どもの遊びと生活 ・子どもの健康管理 <1学期期末> ・エプロンシアター制作 <2学期中間> ・エプロンシアター制作 <2学期期末> ・保育の意義と目標 ・保育の方法 ・保育の環境 ・子どもの福祉 ・子育て支援 <3学期> ・エプロンシアターの発表 ・児童虐待について			備考			